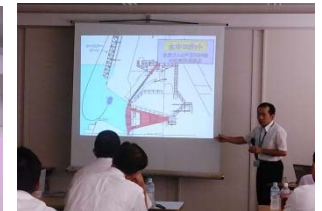


- 中部圏インフラ用ロボットコンソーシアムは、インフラの維持管理において、ロボット技術の導入による維持管理の効率化・高度化の支援を行い、点検・診断・補修等に必要な技術者不足を解消し、災害時には、災害調査ロボットによる被災状況把握や無人化施工により、被災直後の調査や応急対策の迅速化を図ることを目的に、平成27年4月に設立され、これまで、災害分野・橋梁点検・水中点検ロボットに関する説明会や現場見学会、会員による展示会への出展活動等を実施してきたところです。
- この度、会員同士の意見・情報交換の場であるワーキングを開催しました。
- ワーキングにはコンソーシアム代表の名城大学 福田教授、運営委員の名城大学 大道教授、大同大学 橋口講師も参加され、会員同士の活発な意見交換を行うことが出来ました。

開催概要

- 日 時
平成30年 8月 3日(金)13時30分～15時30分
- 場 所
桜華会館 本館3階 竹の間(名古屋市中区三の丸一丁目7番2号)
- 次 第
 1. 開 会
挨拶 国土交通省 中部地方整備局 企画部 機械施工管理官
 2. 活動報告
中部圏インフラ用ロボットコンソーシアムの活動報告について
 3. ロボット開発に関する国土交通省の取り組みについて
次世代社会インフラ用ロボットの現状について
 4. 事例報告
ダムの中中部施設点検に水中点検ロボット(ROV)を使用した事例紹介
画像鮮明化技術を用いた水中点検ROVについて
パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)
 5. 閉 会
挨拶 名城大学 理工学部 メカトロニクス工学科 教授 福田 敏男
※会議終了後、会員同士による意見交換(名刺交換会)を開催
- 参加者:委員・会員等34名



木曾上 下田係長



企画部 川口建設専門官



パナソニック 古田課長



水中点検ロボット(ROV)の展示



名城大学 福田教授



名城大学 大道教授



大同大学 橋口講師

会議終了後、
意見交換
(名刺交換会)を
開催しました

